



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社タウンズ 上場取引所 東
コード番号 197A URL <https://www.tauns.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野中 雅貴
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 内山 義雄 TEL 055 (957) 3090
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の業績 (2024年7月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	6,419	—	3,745	—	3,753	—	2,696	—
2024年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	26.82	25.20
2024年6月期第1四半期	—	—

(注) 2024年6月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2024年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率、並びに2025年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	29,178	14,251	48.8
2024年6月期	29,261	13,666	46.7

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 14,244百万円 2024年6月期 13,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	6.00	—	21.75	27.75
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期 (予想)	—	6.00	—	22.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2024年6月期期末配当金の内訳 普通配当 10円65銭 特別配当 11円10銭
2025年6月期期末配当金には、創業記念配当10円が含まれております。

3. 2025年6月期の業績予想 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,273	4.5	8,308	3.5	8,316	6.1	6,019	4.2	59.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
当社は年次で業績管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期1Q	100,866,819株	2024年6月期	100,000,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	—株	2024年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期1Q	100,533,960株	2024年6月期1Q	—株

(注) 当社は、2024年6月期第1四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、2024年6月期第1四半期の期中平均株式数(四半期累計)は記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有(任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

[期中レビュー報告書]

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当四半期累計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）においては、世界的な高インフレは落ち着きつつあるものの、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢不安などにより先行きの不透明な状況が続き、わが国においては各国の金融政策との方向性の違いなどによる円高が急速に進行し、また米国景気悪化懸念などを受けた歴史的な株安とそ後の持ち直しなど、不安定な環境が続きました。

体外診断用医薬品業界におきましては、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の指定感染症が5類に変更されて以降も感染拡大と縮小が繰り返されていますが、2024年7月においては新型コロナウイルス感染症の第11波が発生しました。前年同時期の第9波と比較してもほぼ同程度のペース・規模のまま8月中旬まで感染拡大を続けましたが、第9波においてはお盆明けに人流の回復とともに流行が再拡大したのに対して、第11波においては流行が再拡大せずに縮小に転じたことから、前年同期よりも新型コロナの流行規模や検査キットの市場は小さくなりました。

また、前年同期においては2023年9月にインフルエンザの流行も始まり、新型コロナウイルス感染症と同時期に流行したことから、医療機関においてはインフルエンザ検査キットや、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の二つを同時に検査できる製品（コンボキット）に対する需要が急激に高まりましたが、当四半期会計期間においてはインフルエンザの流行が沖縄など一部の地域に止まり、全国的な流行には発展していません。

当四半期累計期間においては、第11波発生時に新型コロナのみを検査する単品キットを中心に、一部販売代理店による在庫確保の取り組みが生じました。これは前年同期においてはコンボキットを中心に、業界全体的な在庫不足に陥ったことを踏まえた予防策であると考えております。こうした取り組みを受け、まず単品キットの販売が進み、ついでコンボキットの販売が進みました。

<四半期売上高推移>（百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
23年6月期	6,326	4,106	2,401	2,839	15,673
24年6月期	6,943	4,673	4,754	2,063	18,434
25年6月期	6,419	—	—	—	—

四半期売上高実績推移としては、いずれの期においても第1四半期が最大の売上となっておりますが、23年6月期においては一過性である自治体向けの新型コロナ検査キット売上が14億円程度含まれていたことをご留意ください。他方で24年6月期においては、当社は9月ごろから2月ごろまでの期間で主要製品の出荷調整を行っていたことにご留意ください。

25年6月期においては主要製品の出荷調整の影響が前期のように生じないことを前提とし、第2四半期以降の累計売上は前年を上回ると想定しております。

<第1四半期P/L QoQ比較>（百万円）

	23/6 1Q	24/6 1Q	25/6 1Q	前年同期比
売上高	6,326	6,943	6,419	△7.5%
（内、自治体向け売上）	1,477	—	—	—
売上総利益	3,909	4,802	4,810	0.2%
売上総利益率（%）	61.8%	69.2%	74.9%	5.8%
営業利益	2,812	3,746	3,745	△0.0%
営業利益率（%）	44.5%	53.9%	58.3%	4.4%
経常利益	2,807	3,741	3,753	0.3%
経常利益率（%）	44.4%	53.9%	58.5%	4.6%
四半期純利益	1,920	2,685	2,696	0.4%
四半期純利益率（%）	30.4%	38.7%	42.0%	3.3%

第1四半期における損益の過去比較ですが、23年6月期においては利幅の低い自治体向けの入札案件を相当程度売上を含んでいたことから、売上総利益率が抑えられ、各段階損益が相対的に小さくなりました。24年6月期においては自治体向けの入札案件をほぼ含まず、各段階損益率が改善したことで増収増益となりました。

25年6月期においては利幅の高い新型コロナの単品キット、インフルエンザとのコンボキットが売上高に対して多くの割合を占めたため、各段階損益率はさらに改善し、減収増益にて着地しました。

＜主要製品別・第1四半期売上高＞（百万円）

主要製品別売上高 （純売上高ベース）	23年6月期 第1四半期（a）	24年6月期 第1四半期（b）	25年6月期 第1四半期（c）	前年同期比 （c） / （b）
新型コロナ単品検査キット	5,356	2,374	3,284	38.3%
新型コロナ/インフルエンザ コンボ検査キット	285	2,479	2,013	△18.8%
インフルエンザ検査キット	118	1,286	400	△68.9%
その他	565	803	720	△10.3%
合計	6,326	6,943	6,419	△7.5%

主要製品別の第1四半期売上高を比較すると、9月からインフルエンザの全国的な流行が見られた24年6月期に対して、当第1四半期においてはインフルエンザ検査キットの売上が大きく減少しております。またコンボキットについても、市場規模が前年を下回り、当社のシェアも未だ回復途上にあることから、前年同期を下回る水準となりました。他方で、新型コロナ単品検査キットにおいては、市場規模は前年を大きく下回ったものの当社シェアが大きく上振れたことから、前年同期を大きく上回る水準となっております。

このような環境下において、当社はコーポレートスローガン「診断技術で、安心な毎日を。」に基づき、社会的責務として検査キットの供給責任を全うすべく最善を尽くしました。

その結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高は6,419,625千円となり、営業利益は3,745,205千円となりました。また経常利益は3,753,838千円となり、四半期純利益は2,696,686千円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ82,505千円減少し、29,178,820千円となりました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の第11波の影響を受け、売上高が大きく伸長したことに伴う売掛金の増加があった一方、配当金の支払や未払法人税等の支払により現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ667,742千円減少し14,926,823千円となりました。これは主に、税金費用の支払に伴う未払法人税等が減少したことに加え、タームローン返済による長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ585,236千円増加し14,251,996千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期業績予想につきましては、2024年8月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,424,891	5,030,774
売掛金	2,706,864	6,597,589
商品及び製品	2,731,012	2,684,554
仕掛品	846,011	920,004
原材料及び貯蔵品	1,140,425	1,200,239
その他	66,508	140,271
流動資産合計	16,915,714	16,573,433
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	3,972,673	4,220,790
その他（純額）	3,932,553	3,906,090
有形固定資産合計	7,905,227	8,126,881
無形固定資産		
顧客関連資産	2,726,400	2,669,600
技術関連資産	696,266	671,400
その他	298,204	387,293
無形固定資産合計	3,720,871	3,728,293
投資その他の資産	719,512	750,211
固定資産合計	12,345,611	12,605,386
資産合計	29,261,325	29,178,820

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,482,761	1,400,694
短期借入金	4,500,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	732,000	732,000
未払法人税等	1,706,274	1,113,274
賞与引当金	427,577	337,933
役員賞与引当金	27,991	—
その他	1,597,837	1,910,663
流動負債合計	10,474,442	9,994,567
固定負債		
長期借入金	4,307,000	4,124,000
繰延税金負債	619,491	619,567
退職給付引当金	181,631	176,688
資産除去債務	12,000	12,000
固定負債合計	5,120,123	4,932,256
負債合計	15,594,565	14,926,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	226,004
新株式申込証拠金	5,681	17,915
資本剰余金		
資本準備金	50,000	76,004
その他資本剰余金	2,633,300	2,633,300
資本剰余金合計	2,683,300	2,709,304
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	10,777,852	11,299,539
利益剰余金合計	10,777,852	11,299,539
株主資本合計	13,666,834	14,252,763
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,982	△7,804
評価・換算差額等合計	△7,982	△7,804
新株予約権	7,907	7,037
純資産合計	13,666,759	14,251,996
負債純資産合計	29,261,325	29,178,820

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,419,625
売上原価	1,608,798
売上総利益	4,810,827
販売費及び一般管理費	1,065,622
営業利益	3,745,205
営業外収益	
受取利息	1,398
受取配当金	110
補助金収入	22,468
その他	475
営業外収益合計	24,452
営業外費用	
支払利息	15,779
その他	40
営業外費用合計	15,819
経常利益	3,753,838
特別利益	
固定資産売却益	1,448
新株予約権戻入益	3
特別利益合計	1,451
税引前四半期純利益	3,755,290
法人税等	1,058,603
四半期純利益	2,696,686

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、体外診断用医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)
減価償却費	171,968千円

独立監査人の四半期財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年11月13日

株式会社タウンズ
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
静岡事務所

指定有限責任社員 公認会計士 伊藤 智章
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 岡本 周二
業務執行社員

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社タウンズの2024年7月1日から2025年6月30日までの第10期事業年度の第1四半期会計期間（2024年7月1日から2024年9月30日まで）及び第1四半期累計期間（2024年7月1日から2024年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続

を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・継続企業的前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。

また、継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・四半期財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。